

避難確保計画に基づいた 防災訓練実施の手引き

鈴鹿市防災危機管理課

目次

- 訓練実施の義務
- ハザードの確認
- 災害時の行動について
- 防災訓練の実施
- 行動基準を決める
- 気象・避難情報の収集
- 防災訓練支援ツール
- 防災訓練ヒント集

訓練実施の義務

◎法律による義務

「水防法」及び「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」において、避難確保計画を作成した施設は、その計画に基づいた訓練を実施するよう求められています（原則年1回以上）。

⇒ 作成した避難確保計画の内容を円滑に実施できるか、避難時に注意する点がないかなどを、実際に訓練を行うことで確認することができます。

ハザードの確認

◎施設にどのようなハザードがかかっているかを確認する。

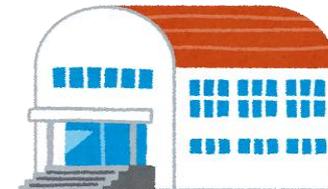
鈴鹿市総合防災マップ・鈴鹿市ウェブ版総合防災マップ等を用いることで、施設が該当するハザード(洪水、高潮、土砂災害)やその範囲、浸水深等を確認することができますので、施設担当者の方におきましては御確認をお願いいたします。

災害時の行動について①

◆各施設に該当している災害(洪水、高潮、土砂災害)について、避難確保計画を基に、必要な行動を訓練で確認してください。

- 避難確保計画の確認
- 避難先等の確認
- 情報の収集・報告
- 気象情報の確認
- 大雨警報等の情報取得
- 避難準備の判断・指示
- 職員の参集
- 利用者への状況説明

(②へ続く)



災害時の行動について②

◆各施設に該当している災害(洪水、高潮、土砂災害)について、避難確保計画を基に、必要な行動を訓練で確認してください。

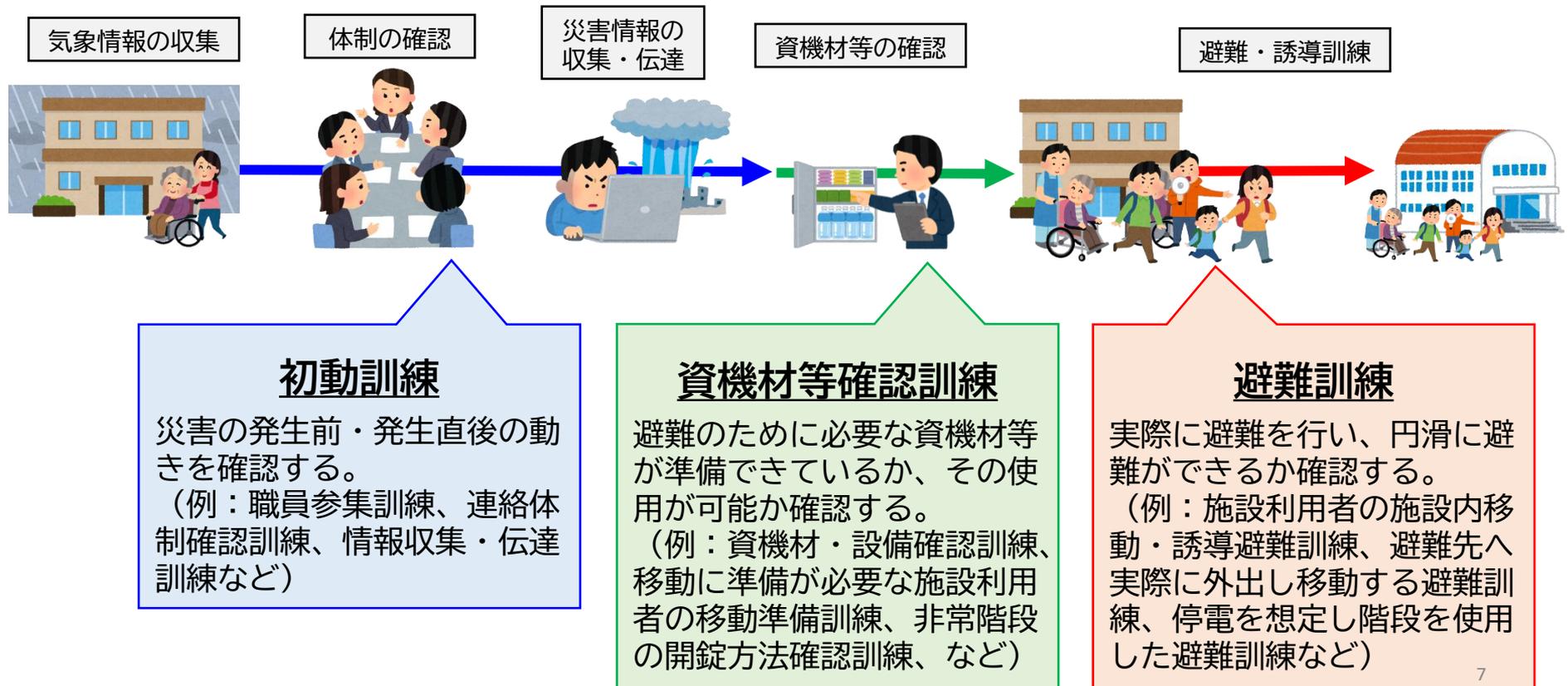
- 備蓄の準備
- 車いす・担架の準備
- 利用者の着替え
- 資機材の準備
- 避難対応(利用者別)
- 車いすへの移動
- 施設内移動
- 上層階への移動
- 避難場所までの移動

など



防災訓練の実施

◆水害に対する防災訓練は、フェーズごとに分けることができます。



防災訓練の実施

◆防災訓練支援ツール(本資料p.13～p.20)を使用し、施設で行いたい訓練メニューを選択して行うことができます。

なお、内容はあくまで例ですので、施設ごとに合った訓練の追加や、内容の変更をしていただいてもかまいません。

訓練カード
【共通編】

訓練カード①
初動【職員参集・情報伝達】

訓練カード②
初動【情報伝達・役割分担等】

訓練カード③
避難準備【資機材・備蓄品・設備等の準備】

訓練カード④
避難準備【移動に向けた事前準備】

訓練カード⑤
避難実施【施設内の避難誘導】

訓練カード⑥
避難実施【施設外への避難誘導】

行動基準を決める

◆防災訓練を実施するにあたっては事前に、気象状況や気象庁の注意報・警報、市が発表する避難情報等の、何を基準にどのような行動をするかを決めておく必要があります。

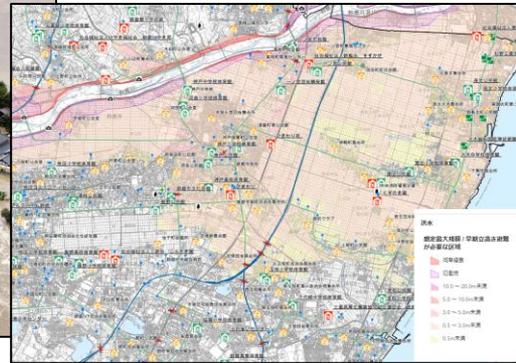
国土交通省のウェブサイトに掲載されている「避難確保計画作成・活用の手引き(R4.3月)(p.68～p.74)」等が参考になりますので、よろしければご覧ください。

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
高 警戒レベル 5 命の危険 直ちに安全確保！	既に <u>災害が発生・切迫</u> している状況です。 命が危険ですので、直ちに身の安全を確保しましょう。	緊急安全確保 (市町村が発令) ※市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~~		
警戒レベル <b>4</b> 危険な場所から <b>全員避難</b>	災害が発生する危険が高まっています。 <u>速やかに危険な場所から避難先へ避難</u> しましょう。	<b>避難指示</b> (市町村が発令)  ※避難指示は、令和3年の災対法改正以前の避難勧告のタイミングで発令されます。
警戒レベル <b>3</b> 危険な場所から <b>高齢者等は避難</b>	<u>避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者</u> は危険な場所から避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	<b>高齢者等避難</b> (市町村が発令)
警戒レベル <b>2</b>	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの <u>避難行動を確認</u> しましょう。	<b>洪水注意報 大雨注意報等</b> (気象庁が発表)
<b>低</b> 警戒レベル <b>1</b>	災害への心構えを高めましょう。	<b>早期注意情報</b> (気象庁が発表)

# 行動基準を決める

## ◆災害のイメージ(写真と鈴鹿市ハザードマップの例)

洪水



土砂災害



高潮



# 気象・避難情報の収集①

## 気象庁が出す 注意報・警報をチェック☑

◎気象庁ウェブサイト



◎鈴鹿市公式LINE



◎気象・防災アプリ



## 市町村が出す 避難情報をチェック☑

◎緊急速報メール(エリアメール)



◎鈴鹿市公式ウェブサイト

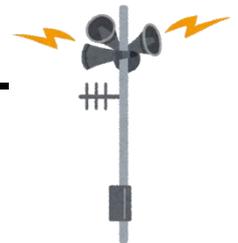


◎各種SNS

(鈴鹿市公式LINE等)



◎防災スピーカー



# 気象・避難情報の収集②

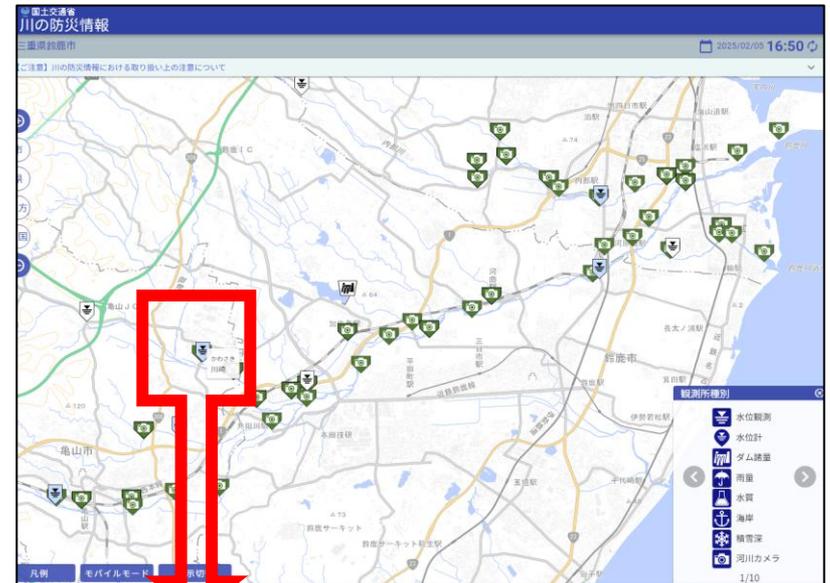
リアルタイムで危険度や水位などを確認できます。

## 気象庁サイト内（キキクル）



洪水キキクル

## 国土交通省（川の防災情報）



水位情報

# 防災訓練支援ツール

## 訓練カード【共通編】

実施の有無	訓練項目	訓練目標
<input type="checkbox"/>	訓練①：気象情報を収集する ・テレビのdボタン（NHK）を確認する。 ・気象庁のウェブサイトを確認する。 ・緊急速報メールを確認する。 ・鈴鹿市公式LINEを確認する。 ・市町村ウェブサイトを確認する。 ・ラジオから情報を確認する。	（例）操作に迷わず円滑に情報収集する。
<input type="checkbox"/>	訓練②：河川水位情報を収集する。 ・国土交通省の「川の防災情報」で水位情報や周辺情報を確認する。 ・三重河川国道事務所のライブカメラで周辺情報を確認する。 ・市や防災アプリからの防災情報メールを確認する。	（例）操作に迷わず円滑に情報収集する。
<input type="checkbox"/>	訓練③：責任者に台風や河川水位の情報を報告する。 ・台風の影響予測を報告する。 ・現状の水位情報を報告する。	（例）収集した情報を速やかに責任者に伝える。

# 防災訓練支援ツール

## 訓練カード【共通編】

実施の有無	訓練項目	訓練目標
□	訓練④：高齢者等避難などの避難情報を確認し、責任者に報告する。 ・市町村ウェブサイトから避難情報を確認する。 ・鈴鹿市公式LINEを確認する。 ・防災情報メールを確認する。 ・河川の水位情報を確認し、避難判断水位に達していないか、到達する恐れがないか確認する。	(例) 収集した情報を速やかに責任者に伝える。
□	訓練⑤：責任者が施設の災害対応体制への移行や避難開始を判断し、指示を行う。 ・気象情報、河川水位情報に応じた対応を行う。	(例) 「高齢者等避難」が発令されたら、職員に災害対応体制への移行と避難開始を指示する。
□	訓練⑥：施設利用者への説明を行う。 ・気象状況とこれからの動きについて、説明を行う。 ・訓練の際は、事前に説明を行っておく。	(例) 避難を行うことの説明をわかりやすく伝える。

# 防災訓練支援ツール

## 訓練カード① 初動【職員参集・情報伝達】

【訓練内容】：速やかに災害対応体制に移行するため、連絡網等を活用した迅速な職員参集及び館内放送を行う。

実施の有無	訓練項目	訓練目標
<input type="checkbox"/>	災害対応体制への移行を速やかに判断・周知する。	(例) 気象情報が移行の基準を満たしたとき、速やかに責任者が判断を行い、それを全職員へ速やかに周知すること。
<input type="checkbox"/>	災害対応体制への移行に伴う全職員への参集連絡 ・ LINEのグループ機能などアプリを活用してもよい。 ・ 緊急連絡網の手段を複数用意する。	(例) 速やかに全職員から返事があり、いつ頃参集可能か把握できていること。
<input type="checkbox"/>	館内放送の実施 ・ 緊急時に使用可能か。 ・ 放送内容をあらかじめ決めているか。 ・ 使用方法を分かっている職員が複数名いるか。 ・ トイレ、風呂など、館内放送が聞こえない場所がないか。	(例) 館内放送の内容が館内全体に伝達されていること。

# 防災訓練支援ツール

## 訓練カード② 初動【情報伝達・役割分担等】

【訓練内容】：職員参集後、初動における役割分担や業務の継続等を判断する。

実施の有無	訓練項目	訓練目標
<input type="checkbox"/>	初動体制（役割分担、災害時のリーダー等）の決定 ・一人複数役をこなせるように訓練時は役割をローテーションする。	（例）災害対応体制に速やかに移行すること。
<input type="checkbox"/>	通所利用者や外来診療の受入れ判断 ・連絡網やウェブサイト、メール等を活用し、利用者や保護者等に対して事前連絡を行う。	（例）判断から連絡までを円滑に行うこと。
<input type="checkbox"/>	早期避難対応の要否判断 ・避難に時間を要する利用者がいれば、早めの対応を行う。	（例）判断から対応までを円滑に行うこと。

# 防災訓練支援ツール

## 訓練カード③ 避難準備【資機材・備蓄品・設備等の準備】

【訓練内容】：避難に必要な資機材・備蓄品・設備等の数量や使用方法、使用期限、保管状態等の確認を行う。

実施の有無	訓練項目	訓練目標
<input type="checkbox"/>	資機材・備蓄品・設備等の確保 ・避難に必要な資機材や設備（車いす、担架、エレベーター等）、備蓄品の数量や保管場所、使用方法、状態等を確認する。	（例）避難に必要な資機材等が準備しており、保管場所等が職員に周知されていること。
<input type="checkbox"/>	土嚢や止水板の設置 ・玄関等からの浸水を防ぐための措置を行う。	（例）玄関へ〇〇分以内に設置する。
<input type="checkbox"/>	備蓄品（水・食料）の実食	（例）災害時用備蓄食料品の味や食べ方の確認をする。
<input type="checkbox"/>	利用者や患者等の情報の適切な管理 ・定期的に印刷して保管し、停電時にも情報を確認できる状態にする。	（例）適切な管理体制を整える。

# 防災訓練支援ツール

## 訓練カード④ 避難準備【移動に向けた事前準備】

【訓練内容】：移動手段の準備・確保と、移動開始までを短縮するための段取りの確認。

実施の有無	訓練項目	訓練目標
<input type="checkbox"/>	避難誘導班の体制確認 ・避難誘導班員が各々の役割を認識していること。	(例) 避難誘導班における利用者別の役割分担を確認する。
<input type="checkbox"/>	利用者の所在・状況確認 ・利用者の所在や安否状況を確認する。	(例) 災害対応体制移行後、(〇名で)〇〇分以内に完了する。
<input type="checkbox"/>	利用者の事前準備 ・着替え、車いす・担架への移動等を行う。	(例) 避難決定後、〇〇分以内に完了する。
<input type="checkbox"/>	施設内の移動手段の確認 ・避難時の通行の妨げになるものがないか、通路や階段の移動でどのようなことに注意すべきか等を確認する。	(例) 通路や階段を使う際の注意点を共有する。
<input type="checkbox"/>	施設外の移動手段の確認 ・避難車両の乗車割り当て表を作成する。(地震時は原則徒歩避難) ・避難者の引き渡しチェックリストを作成する。	(例) 避難者の乗車、引き渡しを円滑に行う。

# 防災訓練支援ツール

## 訓練カード⑤ 避難実施【施設内の避難誘導】

【訓練内容】：避難誘導班の責任者は、利用者の避難における配慮事項及び優先度を考慮し、利用者、避難誘導班担当者、他の従業員への適切な指示を行う。

実施の有無	訓練項目	訓練目標
<input type="checkbox"/>	避難先の選択 ・施設内の避難スペースを迅速に確保する。	(例) 災害対応体制に移行後〇〇分以内に確保する。
<input type="checkbox"/>	施設内における避難移動（避難口まで/垂直避難） ・1階から2階への避難訓練を実施する。 ・夜間訓練を夜間の担当者で行う。必要であれば夜間用の計画を作成する。	(例) 災害対応体制移行後、(〇名で) 〇〇分以内に完了する。
<input type="checkbox"/>	利用者の身体的・精神的体調管理 ・避難中の利用者の体調を適宜確認する体制を取る。	(例) 移動中や避難場所で利用者の体調を確認できる体制を取る。

# 防災訓練支援ツール

## 訓練カード⑥ 避難実施【施設外への避難誘導】

【訓練内容】：避難誘導班の責任者は、利用者の避難における配慮事項及び優先度を考慮し、利用者、避難誘導班担当者、他の従業員への適切な指示を行う。

実施の有無	訓練項目	訓練目標
<input type="checkbox"/>	避難先の選択 ・施設外の避難スペースを迅速に確保する。	(例) 災害対応体制に移行後〇〇分以内に確保する。避難先に事前連絡が必要であれば連絡する。
<input type="checkbox"/>	移動経路・移動手段の決定 ・大雨時の状況を想定し、避難経路・移動手段の事前確認を行う。	(例) 状況を想定して移動経路と手段を決定し、周知する。
<input type="checkbox"/>	車両への乗り込み訓練	(例) 手配した車両に〇〇分で乗り込む。
<input type="checkbox"/>	リフト車両の操作訓練	(例) 操作可能な職員を〇名確保する。
<input type="checkbox"/>	避難場所への避難 ・安全に配慮して避難を行う。 ・避難開始までを迅速に行う。 ・実際の移動の中で見えてくる注意点を共有する。	(例) 避難決定から〇〇分以内に避難を開始する。
<input type="checkbox"/>	利用者の身体的・精神的体調管理 ・避難中の利用者の体調を適宜確認する体制を取る。	(例) 移動中や避難場所での利用者の体調を確認できる体制を取る。
<input type="checkbox"/>	保護者への受渡し訓練	(例) 保護者への連絡から受渡しまでを円滑に行う。

# 防災訓練ヒント集

◆防災訓練の実施について、以下のヒントを参考にいただければと思います。

- 参集時の連絡体制とは別に、緊急時の施設内・職員間での連絡体制を確認する。特に責任者・班長への報告体制を整える。
- 周知すべき情報がきちんと周知されているかを確認する。(ごく一部の職員しか分からない作業がある、避難経路の要注意箇所が周知されていない、など)
- 職員が利用者・患者役を行い、利用者等に負担がかからないようにする。また、利用者等からの目線で避難時の改善点を見つける。
- 訓練で実際にかかった時間や改善点をもとに、避難確保計画を修正する。